

# エコパルなごや

秋号  
Vol.92

かんきょうをたのしく学ぶ

とくしゅう  
特集

## プラスチックごみのゆくえを考えてみよう！

今、日本では、リサイクルされずに、行き場のなくなってしまったプラスチックごみがたくさんあります。行き場のないプラスチックごみを単純に燃やしてしまうと、地球温暖化に影響があるといわれている二酸化炭素が増えてしまいます。

また、2019年の環境白書によると、毎年約800万トンのプラスチックごみが陸上から海に流れ出しているという試算や、2050年には海に漂うプラスチックごみの重さが、海にすむ魚全体の重さを超えてしまうという試算もあります。

地球温暖化とも関わりがあり、地球規模での海の汚染の原因となっているプラスチックごみ問題について考えてみましょう。

＜河原や浜辺で散らかるプラスチックごみ＞



いろいろな話題をお届けします。

特集

## プラスチックごみのゆくえを考えてみよう！

エコパル  
NEWS

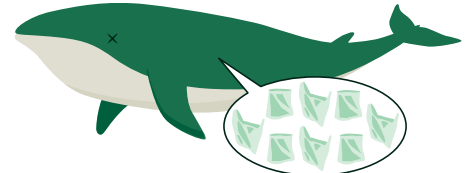
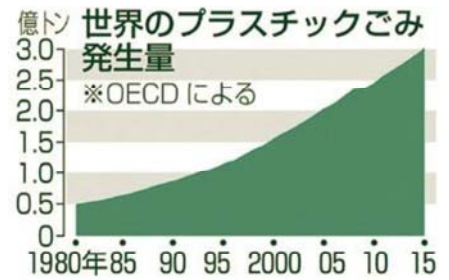
とくべつ 特別ワークショップ、ふじまえ ひ がた 藤前干潟ふれあい事業、  
き かくてん じ き 企画展示、なごやかんきょう 環境大学など

# 1 プラスチックごみの現状

## 世界のプラスチックごみの発生量

プラスチックは社会のさまざまな分野で使われ、生活に便利さと恩恵をもたらし、わたしたちの生活にとってなくてはならない素材です。

経済協力開発機構(OECD)の報告書によると、2015年には世界では年間約4億トンの石油を原料とするプラスチックが生産され、このうちリサイクルされるのは推定14%~18%で、プラスチックごみの発生量は増え続け、約3億トンに達しています。



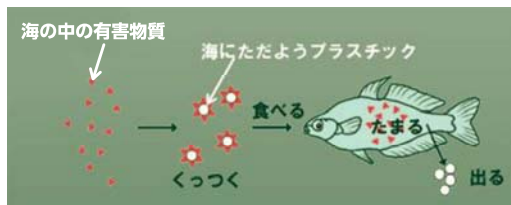
<お腹はビニール袋でいっぱい…>

## プラスチックごみによる海洋汚染問題

世界全体で約800万トンのプラスチックごみが、ポイ捨てなどの不適正な処理のために陸上から海洋へ流出していると推計され、国際会議でも議論されるなど、地球規模での海の環境汚染が世界的な課題となっています。

こうしたプラスチックごみによる、魚や鳥など海で生きる生きものへの深刻な影響が心配されています。タイでは死んだクジラの胃袋から餌と間違えて食べた8キロ、80枚を超えるビニール袋が発見された事例も報告されています。

プラスチックが有害物質を吸着、生体内で濃縮



(出所) 東京農工大学 高田秀重教授から提供いただいた資料を一部加工

海へ流出したプラスチックごみは、紫外線や波によって細かく砕かれ、5ミリメートル以下になったものは「マイクロプラスチック」と呼ばれています。

海に漂うプラスチックは有害物質を吸着する性質があり、このマイクロプラスチックを食べた海洋生物の体内の脂肪などに有害物質が蓄積することが確認されています。人を含めた生きものへの長期的な影響については明らかになっていない部分も多いですが、食物連鎖の中で多くの生きものへ悪影響を及ぼす恐れがあります。

# 2 世界各国と国際社会の動向

## 各国のプラスチック対策の取組事例

プラスチックごみの発生を減らすため、世界各国で使い捨てプラスチック製品の使用を減らす取り組みが進められています。環境省資料「プラスチックを取り巻く国内外の状況」によると、欧州委員会は、2018年5月に食品容器、飲料のフタなど欧州の海岸や海に多く見られる使い捨てプラスチック10品目と漁具を対象として、消費削減、生産者の義務拡大(EPR)などの規制内容を提案しています。

フランスでは2016年からプラスチック製レジ袋の使用禁止と2020年以降は使い捨てプラスチック容器の使用を原則禁止する法律が成立するなど、各国でレジ袋、食品容器、ストローなどのプラスチック製品を対象として、無償配布禁止(有料化)、製造・販売・使用等の禁止対策などの取り組みが行われています。



## バーゼル条約の締約国会議での決定

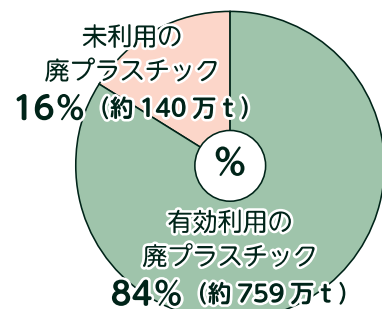
バーゼル条約は、世界180国以上が加盟し、有害廃棄物の国境を超えた移動を規制しています。2019年5月にスイスで開催された締約国会議で、リサイクルに適さない汚れたプラスチックごみも条約の規制対象に加えることが決まりました。2021年から規制対象のプラスチックごみを輸出するには相手国の同意が必要となり、輸出が困難になることが予想されています。

# 3 日本の動向

## 日本のプラスチックごみの現状

日本では、2016年には約1,100万トンプラスチック樹脂が生産されています。このうち、廃棄されるプラスチックの総排出量は約899万トンで、再生利用とエネルギー回収を合わせた有効利用している廃プラスチックの量は約759万トン、80%台半ばに達しています。一方、単純に焼却したり、埋め立てて未利用となっている廃プラスチックの量は約140万トンで、10%台半ばとなっています。(グラフ1参照)

【グラフ1】日本の廃プラスチック処理

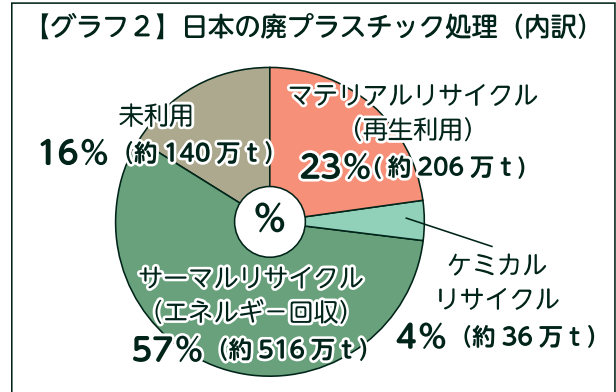


日本の廃プラスチックの主なリサイクルの方法は、分別された廃プラスチックなどをそのまま原料にして新しい製品に再利用する「マテリアルリサイクル(再生利用)」、高炉で還元剤として再利用する(高炉原料化技術)などの「ケミカルリサイクル」、固形燃料化などで再利用する「サーマルリサイクル(エネルギー回収)」の3つに分類されます(グラフ2参照)。

マテリアルリサイクルは約206万トンですが、それを利用先別でみると138万トンは輸出され、国内での再生樹脂としての利用は数パーセントです。また、エネルギーとし回収しているサーマルリサイクルが約516万トンを含んでいます。地球温暖化に影響を与えることから、プラスチックごみを燃やしてその熱などを利用することをリサイクルとして取り扱うことには、様々な意見があります。

国連環境計画 (UNEP) の報告書によると、日本は一人当たりのワンウェイの容器包装の廃棄量が世界で2番目に多い国であり、1割以上の未利用の廃プラスチックがあります。

さらに、マテリアルリサイクルの利用先別では輸出が大半を占め、近年中国をはじめアジア各国による輸入規制が拡大しており、バーゼル条約でもリサイクルに適さない汚れたプラスチックごみが規制対象に加えられました。これまで以上に国内での資源の循環が求められているといえます。



※グラフ1・2は(一社)プラスチック循環利用協会「プラスチックリサイクルの基礎知識2018」から作成

## 国による「プラスチック資源循環戦略」の策定

国においては、第四次循環型社会形成推進基本計画を踏まえ、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応するため、「3R+再生可能資源への代替(Renewable)」を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略「プラスチック資源循環戦略」を2019年5月に策定し、公表しています。

プラスチック資源循環戦略では、次のような戦略展開に当たっての中間の目標(マイルストーン)を定めています。

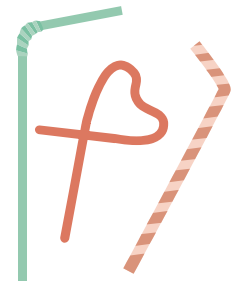


「プラスチック・スマート」キャンペーンの推進  
～プラスチックとの賢い付き合い方～

リデュース	・2030年までに、ワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制
リユース・リサイクル	・2025年までに、リユース・リサイクル可能なデザインに ・2030年までに、容器包装の6割をリユース・リサイクル ・2035年までに、使用済みプラスチックを100%リユース・リサイクル等により有効利用
再生利用・バイオマスプラスチック	・2030年までに、プラスチックの再生利用を倍増 ・2030年までに、バイオマスプラスチックを約200万トン導入

(出所) 令和元年版「環境白書・循環型白書・生物多様性白書」から作成

<様々なプラスチック製ストロー>



## 資源循環に関する企業の取り組み

各国の企業の使い捨てプラスチック製品等の提供を禁止する取り組みを受けて、日本企業も世界的な課題となっているプラスチックごみの削減対策に本格的な取り組みを始めています。飲食業界の企業が国内外の全店舗で2020年までにプラスチック製のストローの使用廃止を表明するなど、様々な業界で使い捨てプラスチックを削減する動きが広がりはじめています。

2019年5月に開催された20カ国・地域農業相会合のレセプションでは、木造住宅会社が日本のかんな技術を活用して製作した「木製のストロー」が採用され、反響が大きかったと報道されています。

飲料メーカー	すべてのペットボトルをリサイクル素材と植物の由来の素材で代替する目標設定や、ラベルのない商品、新たにリサイクル素材100%のペットボトルを使った商品を発売
スーパー、コンビニ	レジ袋の有料化に取り組んでいたり、プラスチック製のレジ袋を50%削減や全廃する計画を発表
飲食チェーン店	プラスチック製ストローの提供をすでにやめたり、取りやめる計画を発表

## 名古屋市啓発物品の調達に係るプラスチックの削減方針

名古屋市は、プラスチックごみによる海洋汚染が世界的な問題となっている状況を受け、独自にプラスチックごみを削減する観点から、2019年度から啓発物品の調達において考慮すべき事項をまとめた方針を策定しています。この方針の基本的事項として、市が調達する啓発物品において、ワンウェイのプラスチック製の製品や容器包装を可能な限り削減するよう努めるものとしています。啓発物品を調達する時の基準や注意すべきことは次のとおりとなっています。

事項	内容
調達基準 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンウェイのプラスチック製の製品でないこと</li> <li>一次マイクロプラスチックを含む製品や、通常の使用で二次マイクロプラスチックを発生させる製品でないこと</li> </ul>
調達基準 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い捨てマスクなどワンウェイのプラスチック製の製品は、紙や生分解性プラスチックなどの素材を使用するものに変更したり、他の啓発物品を選択</li> <li>ボールペン、定規といった文房具などワンウェイでないものは、プラスチック製でも選択できる</li> </ul>
調達基準 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリアファイルなど個々に包装する必要がないものは包装を省略</li> <li>ポケットティッシュなど製品の性質上、容器包装が不可欠の場合には、紙製などプラスチック以外の包装に変更したり、他の啓発物品を検討</li> </ul>
調達基準 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発物品が事業の内容と密接な関連がある場合で、ワンウェイのプラスチック製の製品又は容器包装を使用することがやむを得ない時は調達できる（通常の使用で二次マイクロプラスチックを発生させるものなどを除きます）</li> <li>※ 例示：熱中症対策の啓発のためのPETボトル入りのスポーツドリンクの配布など</li> </ul>
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンウェイではない製品においても啓発物品は、自然由来の素材やリサイクル材を使用するなど環境に配慮</li> </ul>

注1：一次マイクロプラスチックとは、製品や製品原料として使用する目的のため、あらかじめ微小なサイズで製造されたプラスチック

注2：二次マイクロプラスチックとは、プラスチック製品が自然環境の中で劣化し、粉々になることで生じた5ミリメートル以下のプラスチック（出所）「名古屋市啓発物品の調達に係るプラスチックごみの削減に関する方針」から作成

## 4 プラスチックごみ問題を解決するには？

地球温暖化とも関連するプラスチックごみ問題を解決することはとても難しいことです。

わたしたちに今すぐできる取り組みとしては、できるだけ使い捨てのプラスチック製品に頼らないライフスタイルに見直すこと、資源としてきちんと分別することではないでしょうか。

長期的な取り組みとしては、国を挙げてプラスチックの使用量削減と国内での再利用を徹底するとともに、植物から作られるバイオプラスチックなど、石油を原料とする現在のプラスチックを再生可能な素材に切り替えていくことではないでしょうか。

### わたしたちにできること

とても便利なプラスチック製品に囲まれたわたしたちの生活を見直すことが大切です。

日常的にマイバッグを持ち歩き、コンビニに行く時にもレジ袋を断ることを心がける、出かける時はペットボトルではなく、マイボトルやマイカップを利用するなど、一人ひとりの行動からプラスチックごみを減らす大きな流れをつくり出しましょう。

## プラスチックごみを減らすには… ～一人ひとりの行動が海の生きものを守ります～

普段の生活で何をしたらいいの？

- ごみのポイ捨ては絶対ダメ！
- お出かけしたらごみは持ち帰りましょう！
- お買い物にはマイバッグでレジ袋はいりません
- マイボトルでスマートにペットボトルを減らせます



さらに…

- プラマークは正しくリサイクル！
- 再生可能な素材の商品を選びます



### 木の実を使ったツリー・リースづくり



- 日時** ①10月27日(日) ②11月24日(日) ③12月15日(日)  
各日 13:00～ ツリーづくり  
14:30～ リースづくり  
各回30分程度
- 対象** 小学生以上  
(小学生の方は保護者同伴)
- 費用** 1作品500円
- 定員** 各15名(要申込・先着順)※10月11日(金)受付開始
- 講師** 守山リス研究会
- 内容** リスの生息する東谷山の森等で集めた木の実を使って、オリジナルのツリーやリースを作ります。 ※グルーガンを使用します



### おりがみアクション～COP10から10周年に向けて～



- 日時** 11月9日(土) ①13:00～14:00 ②13:40～14:40
- 対象** どなたでも(未就学児は保護者同伴)
- 定員** 各40名(要申込・先着順)※10月11日(金)受付開始
- 費用** 無料
- 講師** 想いでつなごう!おりがみアクション事務局
- 内容** 2010年に開催されたCOP10を折り紙タイムカプセル等で振り返りながら、竹でできた折り紙で里山の生き物などを折り、生物多様性について学びます。



### 自然木を使ったトナカイづくり

- 日時** 12月8日(日) 11:20～11:50、13:30～14:00
- 対象** 幼児～小学生 親子参加OK(小学3年生以下の方は保護者同伴)
- 定員** 各25名(要申込・先着順)※11月12日(火)受付開始
- 費用** 500円
- 講師** もくもく楽舎 たけちゃん工房
- 内容** 自然の木を使った工作教室。手のひらサイズのトナカイを作ります。



### 藤前干潟ふれあい事業

### 藤前干潟の音カフェ「音でえがく藤前干潟」

- 日時** 11月16日(土) 13:30～15:30
- 対象** どなたでも
- 定員** 20～30名
- 費用** 無料
- 会場** 稲永ビジターセンター  
(港区野跡4-11-2)
- 内容** 渡り鳥のルートのお話とともに、オーストラリア・日本・アラスカなどの音楽を生で楽しみましょう!
- お問合せ** 藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局  
TEL: 052-223-1067  
メールアドレス: a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
- 講師** パーカッショニスト 本多“taco-bow” 正典氏



### マンスリー企画展示

#### 10月 いっしょに eco

出展者

花王グループカスタマーマーケティング㈱

内容

くらしのなかで、簡単にできるエコをクイズでご紹介します。体験された方にはプレゼントを差し上げます!

#### 11月 藤前干潟写真展「藤前干潟の野鳥」

出展者

藤前干潟ふれあい事業実行委員会

内容

募集した藤前干潟の写真を展示します。写真をおとして、藤前干潟の魅力を皆様へお伝えします。

#### 12月 環境白書表紙絵入賞作品展示

出展者

環境局環境企画課

内容

「令和元年版 名古屋市環境白書表紙絵募集」で入賞した作品を展示します。



# なごや環境大学



## 「なごや環境大学ガイドブック 2019 後期号」配布中!

子どもから大人まで、誰もが気軽に参加できる環境講座をまとめた「なごや環境大学ガイドブック2019後期号」が無料配布中です。講座の内容、スケジュールについては、ぜひこの一冊をご覧ください。

### 配布場所

- ▶名古屋市内の各区役所
- ▶図書館 ▶生涯学習センター
- ▶スポーツセンター等

## 愛岐の里山たいけん隊・秋

岐阜県多治見市諏訪町にある「愛岐処分場」は、名古屋市から出るごみを焼却した灰などの埋め立て地。その周りに広がる「里山」で、自然との共生をたいけんします! お昼は春のたいけん隊が田植えしたお米で作る五平餅と、諏訪町のみなさんが育てた食材をメインに使ったおいしい手作りごはん♪

会場まではエコパルからバスで行きます。たくさんのご応募、お待ちしております!



- 日時** 11月16日(土) 8:20 ~ 16:30
- 場所** 名古屋市愛岐処分場(岐阜県多治見市)
- 集合** 伏見ライフプラザ2Fエントランスホール
- 解散** 伏見ライフプラザ13Fエコパルなごや
- 受講料** 1,500円+振込手数料(バス代・保険料、要事前振込)
- 対象** 小学4年生から中学2年生まで **定員** 30名
- 申込** お名前、学校名、学年(年齢)、性別、ご住所、お電話番号(あればFAX)、メールアドレスとアレルギー、バス酔いの有無を、下記の宛先へ、FAX、メールいずれかでお送りください。
- 期限** 10月21日(月)必着(応募者多数の場合抽選)  
※受講料はバス代・保険料代として全額バス会社へお支払いください。(要事前振込)  
振込先は抽選後、参加者様へお知らせいたします。

### 旅行企画・実施・お支払先

(株)ツーリスト中部  
(愛知県知事登録旅行業第2-1133号)  
総合旅行業務取扱 管理者 平本 直靖  
〒452-0903  
愛知県清須市助七1-176 片岡ビル1階  
TEL:052-409-8070 FAX:052-409-9130  
申込・お問い合わせは下記「なごや環境大学」  
実行委員会事務局までお願いします。

### 「なごや環境大学」実行委員会事務局 (エコパルなごや内)

〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13  
伏見ライフプラザ13階  
TEL&FAX : 052-223-1223  
E-mail : jim@n-kd.jp  
HP:https://www.n-kd.jp

## エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録されます。

エコパルなごや

登録

名古屋市環境学習センター

## エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号  
伏見ライフプラザ13階  
地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅「6番出口」徒歩7分  
■開館時間/午前9時30分 ~ 午後5時 ■入館料/無料  
■休館日/毎週月曜日 祝日の場合はその翌平日  
年末年始 12月29日~1月3日  
臨時休館 10月14日(月・祝)



申込・問合せ先 TEL : 052-223-1066 FAX : 052-223-4199

http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/  
E-mail : a2231066@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp